

株主の皆様へ

第60期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

CONTENTS

社長インタビュー … P1

セグメント別概況 … P4

TOPICS … P5

特集/新工場情報 … P6

連結財務諸表 … P7

製品技術紹介 … P8

会社概要・株式情報 … P9



XT-8M

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード:6155

変化する市場環境へ柔軟に対応し、
企業価値の向上に努めてまいります。

代表取締役社長 高松宗一郎



Q 第60期(2021年3月期)の振り返りをお願いします。

A 総じて厳しい経済環境にありましたが、
営業利益を黒字とすることができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、この1年で世界経済は急速に悪化しました。期中には、景気持ち直しの動きも見られたものの、感染は収束せず、厳しい状況にありました。

工作機械業界においても需要が急減し、2020年度の業界受注総額は11年ぶりに1兆円を割り込む9,884億円(前年同期比10.1%減)となりました。しかしながら、2020年5月を底に回復基調で推移し、2021年2月および3月には、業界の好不況の目安とされる1,000億円を2ヵ月連続で超えています。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う先行きの不透明感から、設備投資への慎重姿勢が継続してきたことで、上期受注高は13億7百万円にとどまりましたが、下期に

入り、主要な取引先である自動車関係の設備投資意欲が強まってきたことにより、通期受注高は67億27百万円(同10.4%増)まで改善しました。

売上高は、第59期末の受注残高と下期における受注回復が貢献しましたが、134億32百万円(同38.8%減)となりました。売上高の減少に伴い利益も減少し、営業利益6百万円(同99.6%減)、経常利益2億33百万円(同88.6%減)、親会社株主に帰属する当期純損失1億15百万円(前年同期は14億15百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。コストダウンの推進や経費抑制により、営業利益は黒字を確保したものの、第60期実績と今後の業績動向を踏まえて繰延税金資産を取り崩したことで、最終利益が赤字となりました。リーマンショック時以来、11期ぶりの最終赤字となります。

Q 厳しい環境となりましたが、どのような営業活動を行いましたか。

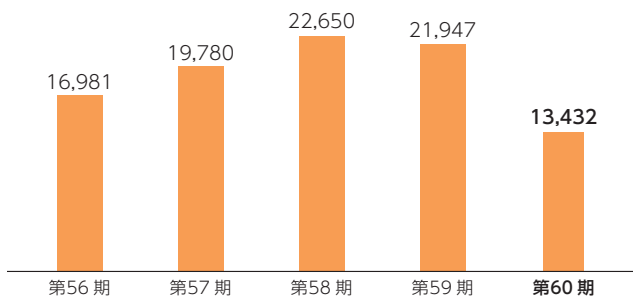
A コロナ禍を乗り切るため、デジタルとリアルの両面から、受注獲得に努めました。

コロナ禍は営業面において厳しい環境でありましたが、デジタルとリアルの両面で全社一丸となって受注獲得に注力してきました。

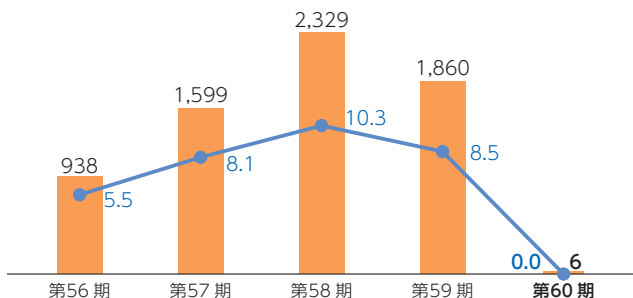
デジタルを活用した営業活動として、YouTube公式チャンネルの開設、バーチャル展示会・オンライン新製品発表会の開催などに取り組んだほか、オンラインでの加工相談受付なども行い、コロナ禍に対応した営業戦略の推進をはかりました。

リアルな営業活動では、設備投資ニーズのあるお客様への積極的なアプローチを行うとともに、本社プライベートショーを開催しました(詳細は、5ページ「TOPICS」をご覧ください)。

■ 売上高 (単位: 百万円)



■ 営業利益 ● 売上高営業利益率 (単位: 百万円, %)



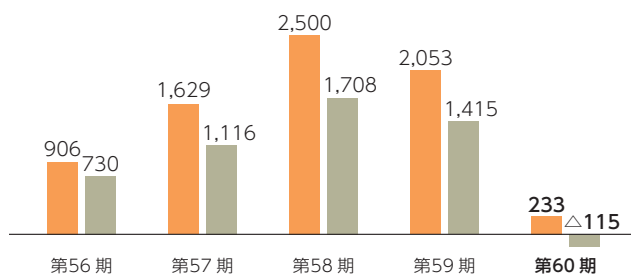
Q 中期計画2021(2019年度~2021年度)の2年目を振り返っていかがですか。

A 基本方針・最重要テーマのもと、中期戦略の着実な実行に取り組んできました。

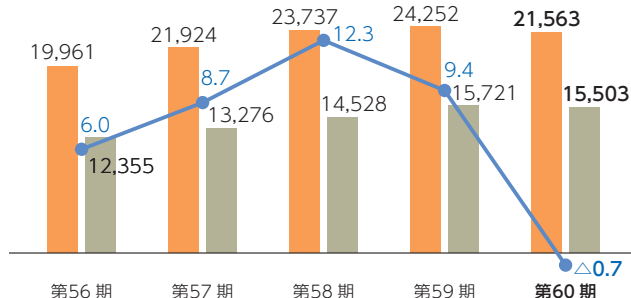
「中期計画2021」の2年目となる第60期は、新型コロナウイルス等の影響から、当初の見込みと大きな乖離が生じました。また、新型コロナウイルスの収束時期が見通せないなど、先行きが不透明なことから、基本方針等は変更しないものの、「中期計画2021」にて掲げていた数値目標を取り下げることとしました。

中長期視点にて策定した中期戦略については、「生産能力の増強」の推進として、2021年2月に新工場建設に着工するとともに、「中期IT戦略の推進」として、積極的なIT投資を行い収益力の強化にも努めるなど、着実に実行してきました。

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



■ 総資産額 ■ 純資産額 ● 自己資本利益率(ROE) (単位: 百万円, %)



Q 第61期(2022年3月期)の見通しを教えてください。

A 先行きは期待と不安が混在していますが、
需要の回復にいち早く対応していきます。

第61期の連結業績予想は、売上高153億17百万円、営業利益5億66百万円、経常利益6億55百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億50百万円を見込んでおります。

新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き見込まれるものの、緩やかな経済回復が継続すると仮定していますが、収束のめどはまだ立っておらず、先行きは不透明であります。その一方で主力分野の工作機械業界では、内需・外需ともにコロナ禍前の受注水準に回帰しつつあり、自動車や半導体製造装置など幅広い分野からの需要が期待されます。

このように先行きは期待と不安が混在していますが、工作機械事業では、需要の回復にいち早く対応し、変化する市場環境にリアルとデジタルの両面での営業戦略を推進していくとともに、コロナ禍前よりも高い生産能力を発揮するための設備投資や人材育成など、今なすべきことをしっかり意識し、必要な取り組みを推進していきます。

IT関連製造装置事業、自動車部品加工事業では、新規取引先の開拓や既存取引先との関係強化に注力していくとともに、経営

資源の有効活用や生産能力の増強による事業拡大を志向するなど、売上高拡大のための施策に取り組んでいきます。

収益面においても、今できる費用の削減や抑制に努めるとともに、ITの活用を推進し、グループ一丸となって更なる業務効率化に取り組むことで収益力の強化に努めていきます。

また、現在建設を進めている新工場は、当社グループが将来にわたり企業価値を向上し続けていくために必要な設備投資であります。2022年4月の操業開始予定に向けて、スムーズに業務移行できるように、また、需要回復局面に新工場が寄与できるように、全社横断的に課題解決をはかっていきます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

新型コロナウイルスの流行は、社会や経済に大きな影響を与え、当社グループも非常に厳しい状況におかれました。その結果、第60期は最終赤字となりましたが、安定的な配当水準を維持していくという配当方針のもと年間10円(中間5円、期末5円)を配当させていただきました。

第61期の配当につきましては、工作機械需要が回復し、当社グループの業績も改善することを見込んでいることから、2円増配した年間12円(中間5円、期末7円)を予定しています。

工作機械業界は、今現在ではまだ先行きを楽観視できませんが、中長期的には新興市場の拡大、環境対応やデジタル化などにより、成長が見込まれています。当社グループは、「挑戦し、成長し続ける企業」として、将来の目指す姿に向けた成長への取り組みにまい進し、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

2022年3月期連結業績予想

売上高	153億17百万円	(前年同期比 14.0%増)
営業利益	5億66百万円	(前年同期比 8,571.5%増)
経常利益	6億55百万円	(前年同期比 180.5%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4億50百万円	(前年同期は1億15百万円の 親会社株主に帰属する当期純損失)

セグメント別概況

第60期 売上高構成比

工作機械事業 82.7%

IT関連製造装置事業

12.2%

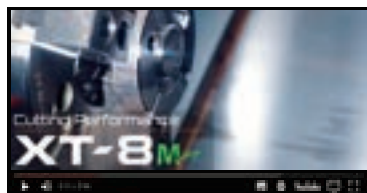
5.1%

自動車部品加工事業

工作機械事業

売上高 11,108百万円
(前年同期比 42.6%減)

営業利益 △150百万円
(前年同期は1,645百万円の営業利益)



公式YouTubeチャンネルにて動画を公開

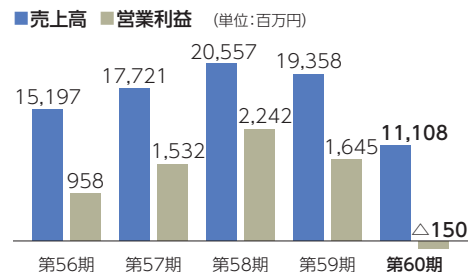
営業面では、需要の掘り起こしをはかり、デジタルを活用した営業活動に取り組みとともに、ユーザ訪問時に製品知識の高い当社技術部員や製造部員が同行し、当社製品の無料診断や生産性向上提案を行う「お客様生産性向上キャンペーン」を実施しました。

地域別の売上高は、国内向け、アジア向けおよび北米向けが大きく減少した結果、内需が78億93百万円(前年同期比35.4%減)、外需が32億14百万円(同55.0%減)、外需比率が28.9%(前年同期は36.9%)となりました。

製品面では、市場ニーズ・ユーザニーズに応える新製品開発に取り組み、「XT-8M」「XT-8MY」を

新たに開発しました。

生産面では、ユーザからの短納期要望や、多様化するニーズに応える設計・製造対応を推進し、最適生産の実施に努めてきました。



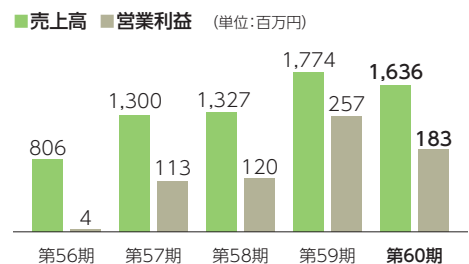
IT関連製造装置事業

売上高 1,636百万円
(前年同期比 7.8%減)

営業利益 183百万円
(前年同期比 28.9%減)

一部の製造請負案件にて需要の減少があったものの、半導体関連やその他の既存取引先からのリピート受注が増加した結果、売上高は堅調に推移しました。

一方で、製品構成比の影響および販管費の上昇等により、営業利益は減少しました。



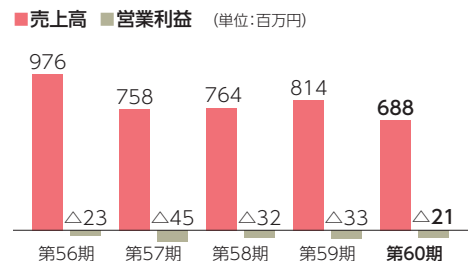
自動車部品加工事業

売上高 688百万円
(前年同期比 15.5%減)

営業利益 △21百万円
(前年同期は33百万円の営業損失)

第1四半期に既存取引先が行った生産調整の影響が大きかったものの、2020年7月以降の自動車部品需要は回復基調で推移し、年度末にかけて売上高の持ち直しが進みました。

収益面では、適切な生産対応とコストダウンに取り組んだ結果、営業損失は減少しました。



全国ディーラ会議

5月13日、本社工場にて全国ディーラ会議を行いました。全国ディーラ会議とは、当社製品を取り扱う主要な販売代理店に、新製品等についてご説明するとともに、販売代理店からは市場ニーズ・ユーザニーズ等の情報提供を受ける、毎年恒例の会議です。

今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から、WEBを利用し開催しましたが、対面と変わらず活発な意見交換が行われました。今回の会議で得た情報を、今後のより良い営業活動・製品開発に活かしていきます。



中部地方発明表彰を受賞

公益社団法人発明協会主催の令和2年度中部地方発明表彰において、当社社員が発明した「制振・冷却性能を両立する2スピンドル旋盤」が石川県知事賞を受賞しました。

これは、熱と振動の両面から加工精度を向上させる特許技術であり、すでにXW-130をはじめ当社機種多くにこの技術を採用しています。

今後も積極的に新たな技術開発・研究を行い、当社製品の機能向上に努めていきます。



CIMT2021

4月12日～17日の6日間、中国にて世界最大規模で工作機械関連企業が集結する展示会「CIMT2021」が開催されました。今回はコロナ禍前までの水準に回復した規模で行われ、



活気のある展示会となりました。

当社グループも出展し、ブースに訪れたお客様に、それぞれの希望に沿ったご提案を行いました。順調な景気回復傾向にある中国での開催とあって、旺盛な設備投資意欲が見られ、今後につながる活発な商談が行われました。

本社プライベートショーを開催

11月24日～26日の3日間、本社工場にてプライベートショーを行いました。

3部に分けた定員制で実施するなど万全な新型コロナウイルス感染対策のもと、安心してご来場いただける体制でお客様をお迎えしました。

会場では新製品のほか、当社の強みの一つである、機械本体と周辺装置の連結事例もご紹介しました。また、工作機械に取り付ける機械工具メーカー各社の製品展示も行い、お客様へのトータルなサポートをご提案しました。

様々な展示会が中止となり、実機を見る機会が制限されてきた中で、間近で当社製品を見られる機会とあって、多くのお客様にお喜びいただけました。

今後も、リアルでの展示会とデジタルを活用したPR、両方の良い面を活かし、積極的に当社製品の魅力をお伝えしていきます。



石川県 白山市にて 新工場2022年4月操業開始

～更なる飛躍を目指し「新たな生産拠点」を建設します～

当社は、更なる生産拡大を行い、売上高300億円を目指す体制を確立するため、新工場を建設します。新工場を全生産拠点の中核と位置付け、将来を見据えた新たな成長戦略の実現を目指します。

新工場の概要

新工場コンセプト

これまでの製造工場のイメージにとらわれることなく、長期コミットメント^(※1)の実現を通じて、挑戦し成長し続けるためのフラッグシップ・ファクトリー^(※2)を目指す。

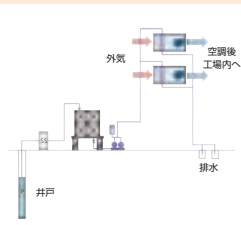
※1 長期コミットメント…全てのステークホルダーの期待に応えるべく当社が掲げた12のコミットメント

※2 フラッグシップ・ファクトリー…主要工場、旗艦工場

新工場の主な取り組み例

● 井水を利用した先進的省エネシステム「プレクーリング」導入

空調設備に、通年で温度が安定している井水を活用することにより、省エネルギー化をはかります。



● 高品質を実現する快適な製造フロア

製造フロアは明るい色調をベースとし、空調は温度・湿度を常に一定に保つことで、製品にも社員にも優しい空間にします。

また、お客様は「見学デッキ」から安全に工場内を見学できます。



その他の取り組み

- DX(デジタル・トランスフォーメーション)による効率化
- ワクワクとリラックスを体感できるカフェテリアと展望デッキ
- ダイバーシティ(多様性)を意識した様々な取り組み
- ウィズコロナ・ニューノーマルを意識した基本設計



新工場の進捗状況

新型コロナウイルスの影響を大きく受けたことから、1年の延期を決定していた建設工事ですが、2月よりついに着工しました。2022年1月末の完成に向けて、安全に留意しながら工事を進めています。

地鎮祭を執り行いました

2月5日、新工場の地鎮祭を執り行いました。式には設計・施工業者の清水建設株式会社、当社関係者合わせて約25名が参列し、新工場建設工事の安全を祈願しました。



工事の様子

新工場の建築作業は、基礎工事がほぼ終了し、いよいよ鉄骨工事に入りました。(5月14日時点)



住 所 石川県白山市旭丘4丁目13番地

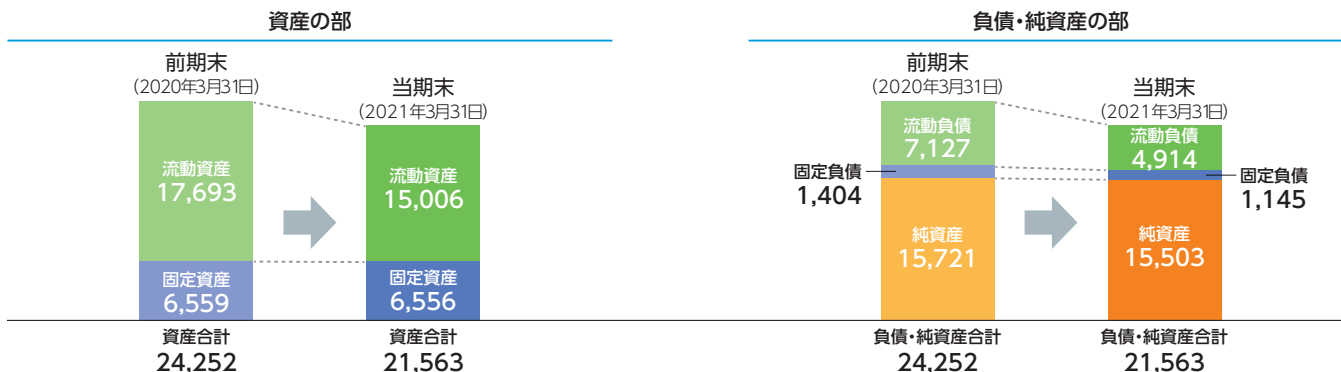
延床面積 約12,000㎡

投資総額 約35億円

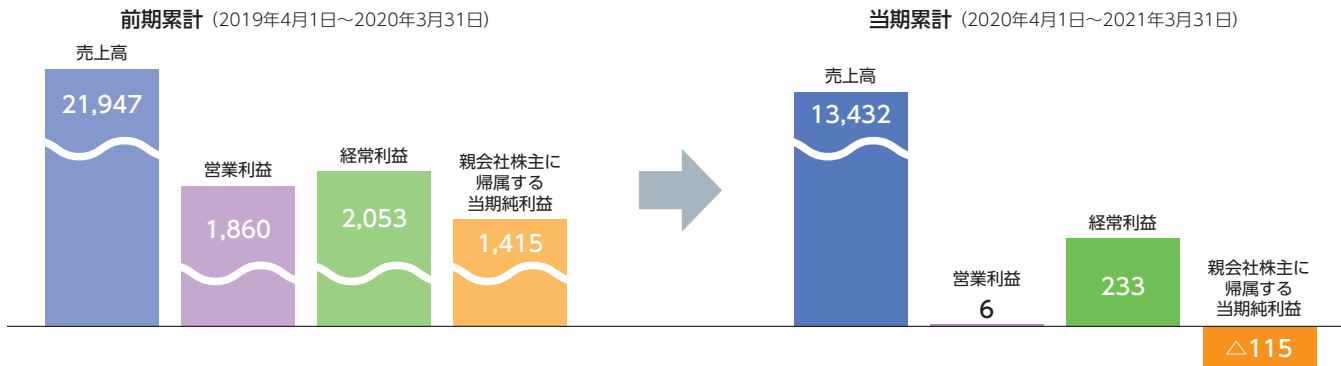
完成日 2022年1月末

操業開始日 2022年4月

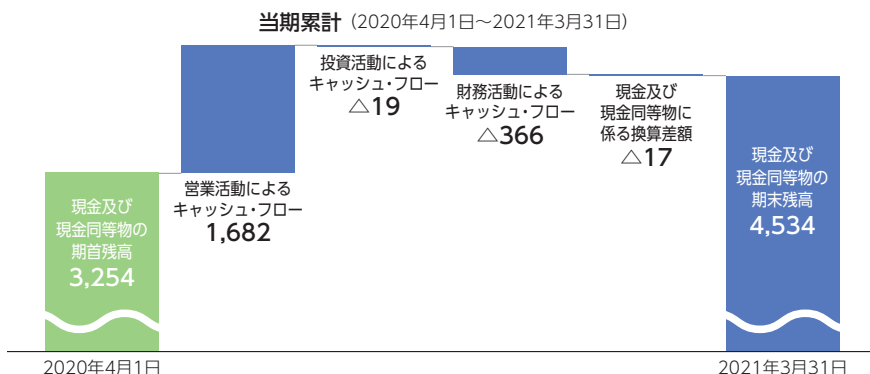
■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。

IR・投資家向け情報 Click!

<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

XT-8 / XT-8M

進化した操作性と切削能力により、高い生産性を実現

「XT-8」は高い切削能力を持つとともに、当社独自開発の操作システムを採用することで、バイト合わせ（刃物位置の調整）の手動作業を安全かつ容易に行える支援機能や、稼働状態を自動保存するIoT機能等を持ち、生産性向上に寄与する人気製品です。

また、その「XT-8」に回転工具を搭載した「XT-8M」もラインナップしています。回転工具は穴あけ、溝加工などのより複雑な加工を可能とするため、更に加工の幅が広がり、お客様の作業効率アップに貢献します。

Point!



TAKAMAZ オペレーティングシステムを採用。直感的な操作が可能なタッチパネル等を搭載しました。

用語解説 回転工具…切削用の刃物自体が回転する機構を設けた工具のこと。



XT-8M

日本機械学会 優秀製品賞受賞！

当社の「Σiロード高速タイプ」が日本機械学会 優秀製品賞を受賞しました。

当社は工作機械本体のみならず、周辺機器も自社で設計・製造を行っており、それが当社の強みでもあります。受賞した「Σiロード高速タイプ」は、加工対象物を搬送する周辺装置であり、加工対象物の脱着時間において、動作を速くするだけでなく、動作を「省く」、「同時にする」ことで、業界最速クラスの2秒以下を実現しました。

コロナ禍によるものづくり現場の無人化・自動化への要求が強まる中、加工精度を落とさずに自動かつ高速で加工対象物を搬送する本製品は高い評価を得て、受賞に繋がりました。

開発者コメント

生産本部
技術部 開発課
浅井 隆平



この度は栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。加工対象物の脱着時間の短縮は、工作機械メーカー各社がしのぎを削る難しい課題ですが、当社が持つ特許技術を組み合わせることで業界最短を達成しております。これからもお客様の工場の生産性向上に寄与し、期待に応える「稼ぐ機械」を提供し続けてまいります。



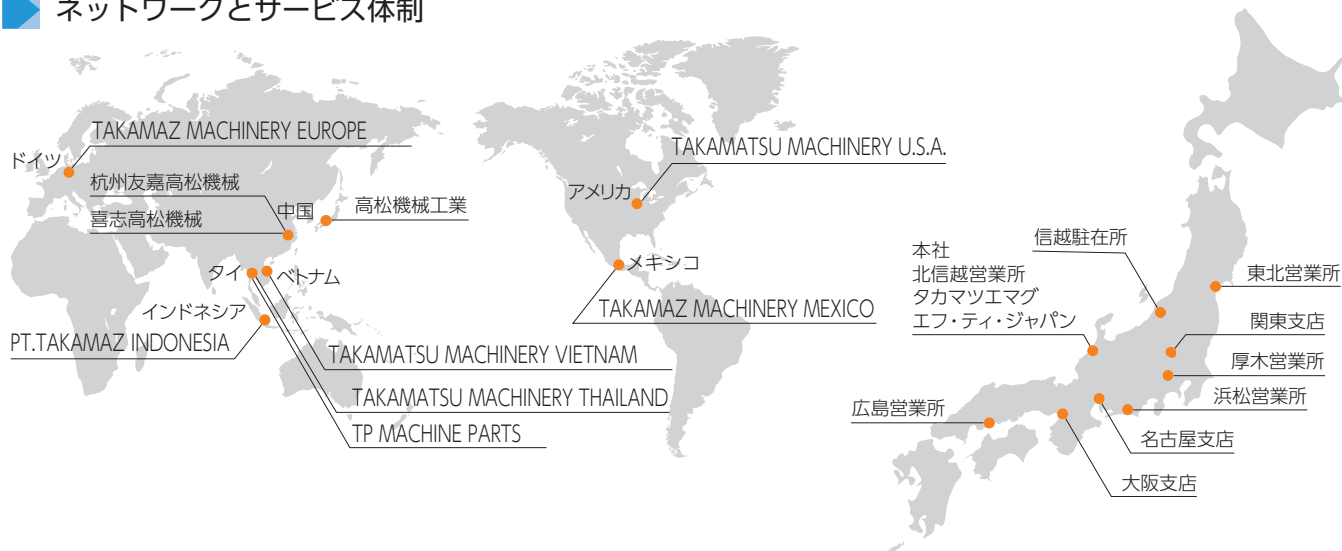
会社概要

商号	高松機械工業株式会社
英文商号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設立	1961年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	556名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役員

代表取締役会長	高松喜与志
代表取締役社長	高松宗一郎
常務取締役	徳野穰
常務取締役	磯部稔
常務取締役	四十万尚
取締役	溝口清
取締役	村田俊哉
取締役(社外)	中西祐一
取締役(社外)	石原多賀子
取締役(社外)	池元ことみ
常勤監査役	成田秀信
監査役(社外)	杖村修司
監査役(社外)	高井和男

ネットワークとサービス体制



株式の状況

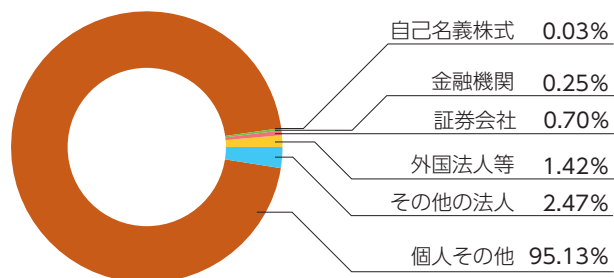
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,159 名

大株主

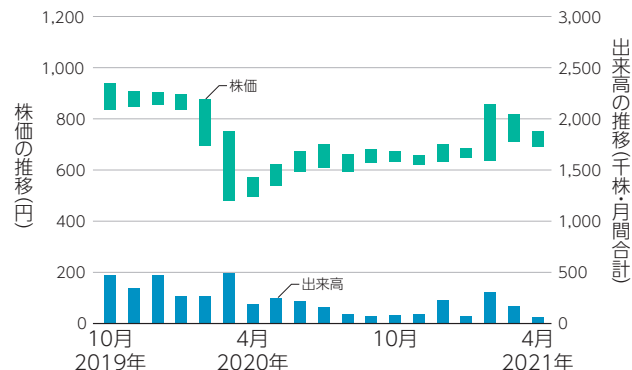
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	987	9.05
株式会社タカマツ	810	7.43
北国総合リース株式会社	433	3.97
株式会社北国銀行	408	3.74
日本生命保険相互会社	384	3.52
明治安田生命保険相互会社	360	3.30
株式会社朝日電機製作所	355	3.26
高松明毅	330	3.03
高松機械工業社員持株会	320	2.94
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	316	2.90

(注) 持株比率は自己株式(114,789株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



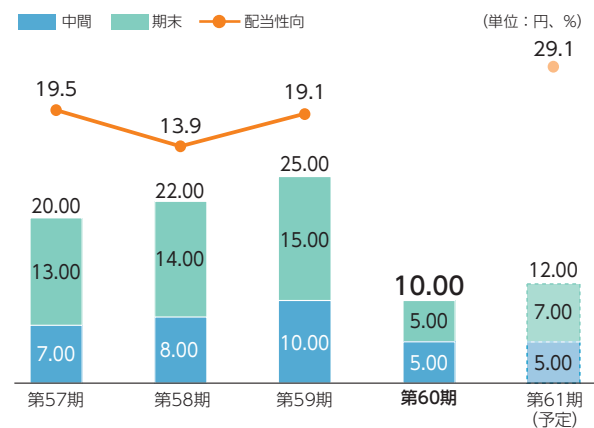
株価・出来高の推移



配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行っていきます。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務
取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

アンケートご協力をお願い 〈単元株主の皆様へ〉

当社は、株主の皆様のお声を頂戴するため、アンケートを実施しています。同封したハガキに質問へのご回答をご記入の上、切手を貼らずにそのままご投函ください。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。お手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



マークシートの当てはまる番号を鉛筆で塗りつぶし、ご回答ください。

ハガキによるご回答

同封のハガキのアンケート回答欄にご記入の上、ご返送ください。

締め切り **2021年9月30日(木)** 当日消印有効



ホームページのご案内

ホームページでは、様々な企業情報や展示会・イベント情報、IR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください!



当社ウェブサイト「トップページ」

<https://www.takamaz.co.jp>

